

稲城野草散策の会

野草スケッチ リョウブ（リョウブ科）



1996/07/02

稲城市坂浜

絵と文 Ta

財団法人・稲城グリーンウエルネス財団という稲城市の外郭団体がある。
市からの補助を受けて、市内にある公園や野球場、体育館などの維持管理を行っている。
公園→グリーン、体育施設→ウエルネス（健康）、という発想からの命名だそうである。

会報第43号 2008年7月13日発行 発行責任者 尼子 房夫

私はこの財団の理事を委嘱されている。

理事といっても、年に3回ほど開かれる理事会に出席して意見を述べるだけだ。

無給である。

あるときの理事会で城山公園のことが話題になった。

予定された議事が終わった後の、雑談的雰囲気の中だったと思う。

城山公園というのは、JR南武線南多摩駅と、ニュータウンにある三和スーパーとの間、道路に沿って約1 kmほど伸びた、細長い公園である。

池や植え込みなどを作っているが、大部分は昔ながらの雑木林を残した自然公園だ。

話を切り出したのは、女性の理事であった。

城山公園の林は暗くて、子供を遊ばせるには少し怖い。生徒が近づかないよう指導している学校もあるやに聞く・・・という問題だった。

事務局からは、手入れはしているが、木が茂ってきたのでうんぬん、というような回答がなされた。

私は、木を切るべきと主張した。木を切ることも雑木林の大切な手入れの一つなのだ、と。

隣の多摩市や府中市の例も出して、木を切ることの効果を説明したが、むやみやたらに切ればよいわけではないし、ノウハウを持った人の確保や後始末など、予算も絡む。

結局、うやむやになってしまった。

城山公園の雑木林も、かつては近隣の農家を支えた「ヤマ（ヤマザクラの項参照）」だったに違いない。

ここでヤマだったところの名残ともいうべき樹木を見つけた。

リョウブである。

ヤマとして、薪炭材、枯枝、落ち葉を農家が利用していたころの雑木林は、痩せ山だった。

雑木林の立場からすれば、幹も枝も葉も生産物をことごとく提供していたのであり、文字通り身を削って農家のお役にたっていたわけである。

言葉は悪いが、当時の農業には「略奪農業」という側面もあったのだ。

「略奪」された結果、山は貧栄養化する。つまり、痩せてくる。

とくに尾根などの乾燥しやすい場所は、下草もまばらな禿山に近い状態となる。コナラやクヌギなどは育たなくなってしまう。

そのような場所に好んで生える植物がある。

多摩丘陵では、ツツジの仲間（ネジキなど）とリョウブがこれに該当する。

いや、彼らは好んで禿山のようなところに生えているのではない。

他の樹木との競争に勝てず、不毛の地へ追い出されてしまった、というのが実態ではないだろうか。

私がリョウブに親近感を覚えるのは、他人事とは思えないからだ(^_^)

高度成長期以来、雑木林からの「略奪」は姿を消し、山は著しく富栄養化してきた。

落ち葉はそのまま腐葉土になり、樹木や下草へ養分を提供する。

下草が茂れば乾燥を防ぎ、適度な地中湿度が保たれる。

尾根筋までコナラ、シデなどの高木が占拠してしまった。

この結果、リョウブたちに新たな受難が訪れた。

いま、わずかに残っているリョウブを見ても、高木に頭上を押さえられて、いじけた姿をさらしている。

もはや彼らには、逃げる場所すらないではないか！

身につまされるところの話ではなくなってしまった。

やはり、雑木林は定期的に木を切らなければならないのである。

* * * * *

〔観察記録〕 5月31日 多摩川・府中

雨の予報が当たってしまいました。それでも16人の熱心な参加者があり、中河原駅から多摩川の河原を歩き、郷土の森の前にあるいこいの公園で昼食。分倍河原駅まで歩いて解散しました。

予想されたものはほぼ見る事が出来ましたが、お目当てのレンリソウは刈られていて、花を見ることは出来ませんでした。

◇観察記録（満井さんの記録）

カラハナソウ、カナムグラ、ギシギシ、ヒロハギシギシ、イシミカワ、ノミノツツリ、ムシトリナデシコ、ケキツネノボタン、セリバヒエンソウ、ドクダミ、イヌガラシ、スカシタゴボウ、カキネガラシ、マメグンバイナズナ、ヤマハタザオ、

カワラサイコ、ザイフリボク、アメリカザイフリボク、テリハノイバラ、ワレモ
コウ、トキワマンサク、コモチマンネングサ、タイトゴメ、オカタイトゴメ、メ
キシコマンネングサ、ツルマンネングサ、シロツメクサ、ムラサキツメクサ、コ
メツブツメクサ、カラスノエンドウ、メドハギ、レンリソウ、ツルウメモドキ、
ゼニアオイ、メマツヨイグサ、コマツヨイグサ、アカバナユウゲショウ、イボタ
ノキ、ガガイモ、ヒルガオ、コヒルガオ、ヒメビショザクラ、イヌホオズキ、バ
ンマツリ、オオイヌノフグリ、カワジシャ、オオカワジシャ、オオバコ、ツボミ
オオバコ、ヘラオオバコ、サンゴジュ、コウゾリナ、ハハコグサ、チチコグサモ
ドキ、ハルシャギク、オオアレチノギク、オオブタクサ、オニウシノケグサ、シ
ナダレスズメガヤ、カモジグサ、アオカモジグサ、クサヨシ、スズメノチャヒキ、
ネズミムギ、ヒエガエリ、ツルヨシ、マスクサスゲ、アゼナルコスゲ、ヤワラス
ゲ

〔観察記録〕 6月14日 稲城ふれあいの森

梅雨のさなか、好天の一日でした。暑くなると思われたのでしょうか、56名
の参加でした。若葉台駅から黒川の方の道に入り、日大のグラウンドのそばに抜け、
ここから稲城ふれあいの森に入りました。

お目当てのオオバノトンボソウのほか、イチヤクソウ、オオカモメツルなどが
見られ、ホタルブクロ、コウゾリナ、ノアザミが咲いていました。

ここで私は都合で帰宅しましたが、皆様は午後からの観察会を堪能されたこと
と思います。次回は7月13日柳瀬川・金山調節池です。5月にフローラオフで
行っていますが、そのときとはまた違ったものが観察出来ると思います。

(FAM)

FAMさん、記録、ありがとうございました。

なんだかあの日は植物名がすんなりと出てこなくて、何度か言いよどんで、周
りの人に助けてもらったことが度々でした。(ささやかるとき、ひやかされました
^_^)

ささやかは稲城駅まで戻って行いました。7名です。

19時に再び若葉台へ行き、ホタルだけの参加者1名と合流して上谷戸(かさ
やと)親水公園へ。

ホタルはそこそこ見られましたが、「乱舞」とまでは行かなかったようです。

ホタルの明滅は2秒間隔であることを確認しました。これって、関西系ですよ
ね?ところで、どう見てもホタルよりも見物人のほうが多い。

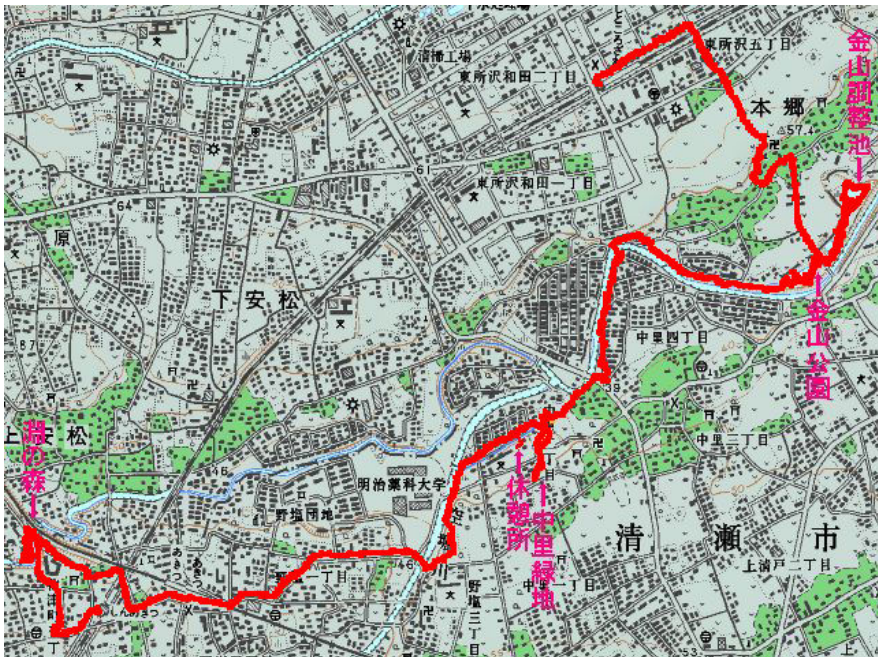
それと、曇り空、かつ、照明がないにもかかわらず明るくて、10mくらい離
れても知った人なら見分けられるほどでした。

遠くの照明が雲に反射されて、まわりを明るくしているようです。(T a)

◇観察記録(満井さんからいただいたデータです・番号順)

(01)メヤブマオ、(02)ママコノシリヌグイ、(03)クリ、(04)アレチギシギシ、(05)ヒロハギシギシ、(06)オオブタクサ、(07)キキョウソウ、(08)ウシハコベ、(09)ホタルブクロ、(10)ハキダメギク、(11)ユウゲショウ、(12)ブタクサ、(13)ブタナ、(14)コウゾ、(15)メマツヨイグサ、(16)コナスビ、(17)ツユクサ、(18)オカトラノオ、(19)ナルコユリ、(20)シオデ、(21)サルトリイバラ、(22)ハコネウツギ、(23)ナガバハエドクソウ、(24)コクサギ、(25)イボタノキ、(26)ツルドクダミ、(27)アキカラマツ、(28)マユミ、(29)ドクダミ、(30)ノビル、(31)コウゾリナ、(32)ノアザミ、(33)チガヤ、(34)ワレモコウ、(35)ニガナ、(36)ツリガネニンジン、(37)オカトラノオ、(38)ヤマハギ、(39)クマノミズキ、(40)ゼンマイ、(41)イヌワラビ、(42)ミドリヒメワラビ、(43)ツリバナ、(44)オカウコギ、(45)ヤマアジサイ、(46)テリハノイバラ、(47)ヤマユリ、(48)ムラサキシキブ、(49)ウグイスカグラ、(50)ニフトコ、(51)ミズキ、(52)ホラシノブ、(53)キブシ、(54)ヤマツツジ、(55)ベニシダ、(56)ヤマイタチシダ、(57)ヒョドリショウゴ、(58)ムクノキ、(59)シラヤマギク、(60)ヒサカキ、(61)ジューニヒトエ、(62)オニドコロ、(63)アキノノゲシ、(64)タマノカンアオイ、(65)シロザ、(66)フタリスズカ、(67)ヤマホトトギス、(68)ホウチャクソウ、(69)キンラン、(70)サジガクビソウ、(71)オオバノトンボソウ、(72)イチヤクソウ、(73)ハリギリ、(74)タチツボスミレ、(75)エゴノキ、(76)タマノカンアオイ、(77)ミゾシダ、(78)オカタツナミソウ、(79)オオバジャノヒゲ、(80)アオイスマレ、(81)ナガバノスミレサイシン、(82)サラシナショウマ、(83)アワブキ、(84)カシワバハグマ、(85)カノツメソウ、(86)オオカモメヅル、(87)シロヨメナ、(88)アカショウマ、(89)ヤブコウジ、(90)アズマネザサ、(91)フジ、(92)ヤマコウバシ、(93)イヌショウマ、(94)サンショウ、(95)ハナイカダ、(96)ノササゲ、(97)ゲジゲジシダ、(98)オトコエシ、(99)アマチャヅル、(100)ヌルデ、(101)コウヤボウキ、(102)カモガヤ、(103)タケニグサ、(104)クワ、(105)イヌシデ、(106)ミツバアケビ、(107)ヤブムラサキ、(108)ワラビ、(109)チャノキ、(110)ウツギ、(111)コメツブツメクサ、(112)アオツツラフジ、(113)クサイ、(114)コモチマンネングサ、(115)シロダモ、(116)ハンショウヅル、(117)キバナアキギリ、(118)ノカンゾウ、(119)トウネズミモチ、(120)カラスビシャク、(121)ヤマハノノキ、(122)トキワハゼ、(123)キリ、(124)カツラ、(125)ネジバナ、(126)スズメノチャヒキ、(127)ゴマギ、(128)テイカカズラ、(129)ツルヨシ、(130)ケンボナシ、(131)ケキツネノボタン、(132)キツネノボタン、(133)ミヤマシラスゲ、(134)ツタウルシ、(135)チダケサシ、(136)カンガレイ(FAM)

〔行事予定〕 2008/7/13 (日) 柳瀬川

項 目	説 明
集 合	am10時、JR武蔵野線東所沢駅 ※会旗目標 JR武蔵野線東所沢駅の改札口は一個所だけです
交 通	JR武蔵野線をご利用下さい
行く先 (解散場所)	金山調節池、緑地公園、柳瀬川緑道 新秋津駅にてpm4時頃解散予定
見所 その他	ジョウロウスゲ ヤナギのいろいろ
地 図	
コース	金山調節池・・・緑地公園・・・柳瀬川沿い緑道・・・新秋津駅 コースは天候その他により変更する場合があります ご用のある方は途中で抜けても構いません

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

★金山調節池のミズタガラシの花の時期に一度行ってみたいと思っていて、5月18日にフローラオフで行ってきました。詳細は、〔観察記録〕をご覧ください。

「ジョウロウスゲ」「ミズタガラシ」「バラモンギク」「アメリカミズユキノシタ」「ナヨナヨワスナグサ」も観察できました。ここはヤナギも種類が多く、観察場所としてよさそうです。

〔行事予定〕 2008/8/2（土） 水元公園

項 目	説 明
集 合	JR常磐線・金町駅 南口改札口付近 am10時 ※会旗目標
交 通	JR常磐線、地下鉄営団千代田線をご利用下さい。 金町駅前から三郷団地行きのバス10：10に乗りますので、これに遅れないようにお願いします
行く先 (解散場所)	水元公園園内観察 JR常磐線金町駅 pm4時頃解散予定
見所 その他	目玉のオニバスのほかアサザ、ゴキツル、ミズネコノオなどの水中～水湿地植物。夏の草花、公園内の樹木など
地 図	
コース	JR金町駅南口→(バス)→桜土手→アサザの池→オニバスの池→公園内散策→青年の家(昼食)→公園内北上→ミズネコノオ自生地→公園内南下→公園入り口→バス停→(バス)→金町駅南口(解散)

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

〔行事予定〕 2008/8/31 (日) 大丸用水

項 目	説 明
集 合	am10時、ＪＲ南武線・南多摩駅 改札口付 ※会旗目標 改札口は一個所だけです
交 通	南武線はＪＲ川崎駅と立川駅の間、多摩川に沿って走っています 南多摩まで川崎から約４５分、立川からは約１５分（乗換えなし） 電車は１０分程度の間隔で運行されています（すべて各駅停車）
行く先 （解散場所）	ＪＲ南多摩駅 → ＪＲ矢野口駅（下の地図を参照ください） 矢野口駅にてpm4時頃解散予定
見所 その他	多摩川の大丸堰近くでは奥多摩から流れ着いたと思われるナンバン ハコベが見つかるかもしれません 水辺の環境と、畑・路傍などの乾燥地とで植生がどう違うのか、 観察するのも面白いと思います 大丸用水については、野草スケッチ「ミソソバ」のエッセーを参照 してください http://homepage3.nifty.com/inagiyasou/essay/e087.htm

地 义



コース	南多摩駅～大丸堰～南多摩駅裏～大丸自治会館（庭で昼食）～踏切1～踏切2～広場（休憩）～矢野口駅（解散） 行程5 km程度、アップダウンはありません コースは天候その他により変更する場合があります ご用のある方は途中で抜けても構いません
-----	---

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

★機会を作って、是非一度稲城野草散策の会HPをご覧ください。

<http://homepage3.nifty.com/inagiyasou/>